

都政新報

都政新報社
 〒160-0023 東京都新宿区
 西新宿7-23-1 T Sビル
 (総務・読者) 03-5330-8781
 (企画・広告) 03-5330-8784
 (編集) 03-5330-8786
 (出版) 03-5330-8788
 (ファクス) 03-5330-8808
 購読料 月1,680円(税込)
 毎週火・金曜日発行
 ただし、祝日は休刊
 ©都政新報社2009

にりん草日記

『石塚ノート』から

エピソード②

石塚区政16年間に振り返る

1991年4月から2007年4月までの16年間に、板橋区長として駆け抜けたその間の軌跡と、そこに参り出た人間石塚雄雄像を振り返る。

「ノート」には珍しい関係者が登場する。名前を伏せて公開が、職は人と会うのがメインの仕事だと今更ながら感謝する。時間管理も高められた。仕切るのは秘密の仕事が、石塚区長は面会や訪問を積極的に行っていた。首長や会合でために区民と話し、現場の生きた情報を高ら集めた。言葉も丁寧で、謙虚に緊張感が漂った。区政の行く末を常に支えてくれるものへの感謝と強い責任感。健康への並外れた意識と行動にも表れ、確実に組織に浸透した。

（山浦純之介）

1991年4月から2007年4月までの16年間に、板橋区長として駆け抜けたその間の軌跡と、そこに参り出た人間石塚雄雄像を振り返る。都庁を経て板橋区と縁を結び、昭和後期から平成の区政史に際然と輝く一時代を築いた確かな足あとがそこには刻まれていた。ここではいくつかの視点から石塚区政の評価を試みたい。

な日々をスーツとし、東京都民生局で障害者と出会うなど区民・議会・職員との理解と協力を得て、徹底した刷新計画が進められ、新たな需要にこたえる基盤を整備した。

「福祉の板橋」の称号は、区職員の誇りでもある。

経営刷新会議

二期目の就任直後、未曾有の財政危機に対し石塚が打ったカンフル剤だ。自ら

の退職金返上・25%の報酬カットを断行し、不遇の決意で区政経営を「刷新」し收支均衡財政を確立するため、各界の有識者を招き新たな経営改革の処方箋を引き出した。職員定数の大幅削減や補助金等の力ツトなど区民・議会・職員となった大野喜久雄元区議会議員は当時、この結果を石塚区長の取り組みに対する金鶏勲章だと述べている。

エピソード②

2年に1度、全国の市区を同一項目で調査し、サービス水準や革新度を比較する日本経済新聞の自治体ランキングである。板橋区は

2005年の第5回調査で、802市区対象で、行政サービス度5位の結果を得た。主要項目は、情報公開などの透明度、行政評価やアウトソーシングなどの効率化・活性化、市民の参加度、窓口や公共施設での利便度などで、石塚区政の成果が客観的・対外的に評価されたものといえる。故人となつた大野喜久雄元区議会議員は当時、この結果を石塚区長の取り組みに対する金鶏勲章だと述べている。

異文化との交流は地域文化の再発見・観光資源の発掘にもつながる。華やかな自治体外交は、財政面への影響からとなく批判的にもなるが、石塚区政での国際交流事業は23区随一の5都市圏との交流を通じ世界平和への貢献を理想に

掲げ、区民・議会からの評価も定着している。民俗芸能・美術・調剤・歴史民俗・市民マラソンなどの全国レベルの事業展開とあわせ、文化の保存振興への取り組みは板橋の「お家芸」とも言えるまでになった。

首長の任期は何期が適當か。答えは一つではないが、石塚は3期と考へた。2002年秋の区議会で3期での引退を表明した石塚が、後継候補の乱立などの諸事情から4期目の出馬を余儀なくされそうになったとき、議長あての「辞職願を呈したため。周囲の感嘆への精一杯の抵抗であった。そのころの「日記」から

政治家の出処進退の難しさ。政治は生き物である。とを如実に示した事例といえる。

陣頭指揮の区政運営

区長会の役員または一員として、各区の個性・主張を尊重しつつ特別区として0万区民全体の最大幸福をめざし、自治権拡充や財政調整など国や都との協議、区間の調整にも奔走した石塚区長。都区はもろもろ内外に人脈を広く持ち、その情報力と交渉力には定評があった。

「ノート」には珍しい関係者が登場する。名前を伏せて公開が、職は人と会うのがメインの仕事だと今更ながら感謝する。時間管理も高められた。仕切るのは秘密の仕事が、石塚区長は面会や訪問を積極的に行っていた。首長や会合でために区民と話し、現場の生きた情報を高ら集めた。言葉も丁寧で、謙虚に緊張感が漂った。区政の行く末を常に支えてくれるものへの感謝と強い責任感。健康への並外れた意識と行動にも表れ、確実に組織に浸透した。

石塚にとって、50万区民のため懸命に区政を率いている自負とたゆまぬ努力こそが、「陣頭指揮」の16年間を裏付けるものだったのである。

（山浦純之介）



石塚前区長(右)の後をうけ板橋区政をリードする坂本健板橋区長